

△産業宣教 異邦人の庭と産業人 (使 2:9-11)	△レムナント伝道学 危機地帯を選択しなさい	△核心 教会の 237 やぐらを建てなさい (使 1:8)	△散らされた弟子たち 征服者 (1)-始まり (マコ 3:13-15)
□序論 1. 時代を見る目 1) 強大国-間違った先進国 (侵略して奪って殺す) 2) 時代遅れのキリスト教 (ユダヤ人-世界へ出て行かないようにしたこと) 3) JX-先んじた時代 (世界福音化) △今は強大国 (経済) と 3 団体 (文化) が全体を掌握している。悟った少数がイスラエルと世界を生かしたのだ。 2. 異邦人の庭 教会の中に異邦人の庭がなければならない。その国の弟子とその国のレムナントがさらに重要だ。これを悟れないで 1) イエスがむちで打たれ 2) 神様が神殿破壊させたのだ。 3) 流浪の民にも送った。 3. 答えは産業人、レムナント 1) 使 18:1-4 プリスキラ夫婦 2) 使 18:24-28 の人々が中にいるレムナントを育てた 3) ロマ 16:3-4 パウロの世界福音化であるローマ福音化に参加 □本論 1. 結局、この契約 (創 12:1-3) を成就する人を通して成し遂げるのだ 1) 創 39:1-6、出 3:1-18 ヨセフ、モーセが世界をひっくり返した 2) I サム 1:9-11 ハンナが出てきた。神様は契約を正確に成就される。 3) I 列 18:1-15 オバデヤが預言者を育てた。アラムの国に勝った 4) ダニ 1:8-9 捕虜として行って、ダニエルが契約を握ったのだ。 5) 使 2:9-11、ロマ 16:1-27 マルコの屋上の部屋に 15 か国の産業人が集まったのだ。これが世界福音化の道になった。 2. 使 2:10 滞在中のローマ人 1) 237 ローマは事実上 237 か国だ。237 を動かすことができる人をそこに送られた 2) ローマ マルコの屋上の部屋でプリスキラを送った 3) 使 2:17-18 終わりの日に約束した聖霊を注ぐことを約束された 3. 使 18:1-4 1) 使 13:1-4、5-12 宣教師として行ってシャーマンを癒やした。 2) 使 14:14-20 リステラにテモテが出た 3) 使 16:6-10、16:11-14、16:16-18 リディアに会うようにされて、悪霊につかれた者を癒やした。 4) 使 17:6 テサロニケでヤソンに会う。 5) 使 18:4 神様が RT がいるのでプリスキラ夫婦を会堂へ呼ばれた □結論 1. 契約的祝福 2. 根源的祝福 3. 代表的祝福 4. 記念碑的祝福 5. 不可抗力的祝福 △律法、教理、ピューリタン運動でなく、完全福音を回復しなければならない。	「レムナントは危機地帯を選択しなさい。レムナントがポイントを見れば機会になる □序論 1. いつでもメッセージの流れに乗りなさい 2. 神様が私とともに、インマヌエル、ワンネスのシステムが出てくる。 3. ただ、唯一性、再創造のシステムが出てくる。 □本論 1. 国家 1) 創 37:1-11 ヨセフ-奴隷でなくエジプト、監獄ではなく危機選択 2) 出 2:1-10 ヨケベデ-モーセを王宮に送ることを選択 3) I サム 3:1-19 ハンナ-サムエルを神殿に送る選択 4) I サム 17:1-47 ダビデが選択した危機がゴリヤテ 5) I 列 19:19-21 指名手配を下されたエリヤを選択したエリシャ 6) ダニ 1:8-9 ダニエル-バビロンに証拠をすすためにした選択 7) ルカ 23:28 みことば-次世代のためのものすごい苦しみが来る時の選択 2. 教会 1) 使 17:1 2) 使 18:4 3) 使 19:8 △神様が未来を生かす答えを RT に与えられることを分かった (会堂)。 3. 237 -機会 1) 創 39:1-6 奴隷= 237 を生かす機会 2) 出 3:1-18 ファラオ王の前=世界福音化の機会 3) I サム 7:1-15 サムエルの選択-ミツパ運動 4) 4:1-5 神殿を作る前に一千のやぐらを建てた。 5) バビロン バビロンに行ったレムナント-危機選択 △レムナントの学業は 237 だ。神様はレムナントにいつでも国家、教会、237 を生かす働きをするようににされる。 6) 使 19:21、23:11、27:24 世界福音化の使命をレムナントに (会堂) □結論_レムナントは解決士のやぐらを建てなさい。	□序論_核心は全体メッセージであるが、これを握って集まって「フォーラム」するのだ。そして聖日の講壇メッセージで答えを受けるのだ。これを指して「金土日時代」と言う。レムナントが本当に楽に自分の話ができればならない。 1. 三つの地準備-教会の中にこのやぐらを作ってグローバル時代に備え 1) <u>子どもたち</u>の庭 2) 異邦人の庭 3) 癒やす祈りの庭 2. 祈りを実際に教えなければならない。 1) プラットフォーム 2) 他人の人生を生かす見張り台 3) 全世界と通じるアンテナ 3. 学業-作品 (Heavenly 上から与えられること、Throne 御座から与えられること、Eternally 永遠なこと) 1) Power -ここから力 2) Talent -タラントが出てきてこそ勉強する価値がある。 3) Mission -ここから出るミッションを持って行ってこそ、正しく社会生活することができる。 △いまは 237-5000 種族に行かなければならない。霊的問題とわざわざいのは全世界で時空を超越する。時空を超越して防ぐことは福音しかない。 □本論 1. 神様の最初の約束 1) 創 12:1-3 あなたとあなたの子孫によって国々が祝福される 2) 創 22:1-21 福音の衝撃を受けたイサクに 100 倍、泉の根源、レホボテの祝福が与えられた。 3) ヨハ 1:1-12 みことばである神様、光として来られたキリスト、その御名を信じる者に神の子どもとなる権威が与えられた。 2. キリストの最後の約束 1) マタ 28:16-20 天と地のすべての権威がわたしに与えられている。あらゆる国の人々を弟子としなさい。 2) マコ 16:15-20 万民に行きなさい。わたしの名で悪霊を追い出しなさい。病気の者に手を置けば、癒やされる。 3) 使 1:8 地の果てまで行きなさい。証人になる。力を与える。待ちなさい。 3. 皆さんが受ける当然、必然、絶対の答え 1) 世界を生かそうとヨセフを送られた 2) モーセを通して出エジプト レムナント 7 人の共通点が全世界の暗闇の中に光を照らしたのだ。 □結論 <u>Trinity、Throne、3 Ages、Universe、5 Power</u> -私に三位一体の神様、御座の祝福と力 9 つが臨むように、3 時代を生かす神様の働きが起こるように、宇宙時代が来るが全世界生かすことができる力を求めて、このために上からの 5 つのパワーを求めて祈るべき。 <u>力</u>が生まれて、皆さんと他の人を<u>癒やす</u>ことができる。世界を生かす<u>使命</u>を果たすようになる。 △この祈りをどのようにしなければならぬのか、悩んでみなさい。すると本当に開かれるようになっている。	□序論_RT 7 「神の霊の宿る者」よりもっと大きい力がどこにあるのか。 □本論 1. 福音-根源が解決された。(創 3:15、出 3:18、イザ 7:14、マタ 16:16) ロマ 1:16-17 「義人は信仰によって生きる」 (ルターが引用) 本来 (ハバ 2:4) に出てきた言葉 2. 教会-完了 1) ヨハ 19:30 完了したのだ。神様が新しい恵みを与えようといわれるのだ。 2) 使 1:3 他のことではできない。神の国 3) 使 1:8 他の力ではできない。ただ聖霊。 3. 現場に行ったとき-絶対に見ること 1) マコ 3:13-15 「あなたがたを呼んだのは、あなたがたとともにいて、また、伝道しながら悪霊を追い出す権威も与えるためだ」 2) マタ 12:28-30 「家に、行く所ごとに先に暗闇を縛ってしまいなさい。すると、神の国が臨む」 3) 使 13:5-12 4) 使 16:16-18 5) 使 19:8-20 現場でだれもできない絶対的な働きを起こした。 □結論_人を生かす「復興のやぐら」を建てなさい

△区域メッセージ (第 30 週) 逆発想と 25 の答え (マタ 5:1-12)	△聖日 1 部礼拝 神によって生まれた人々 (ガラ 1:1-5)	△聖日 2 部礼拝 福音のない教会を生かさなければ (ガラ 1:6-10)
年をとれば考えが固定される。両親も続けて自分の水準を持って話す。もし、今、心の中で「問題」だと考えることがあれば反対に考えてみなさい。それを指して「逆発想」と言う。反対側に見たが 25 答え、偉大な答えが出てくる。 □序論_神様の準備 (反対側) 私たちは下手すると、私の基準、水準、標準を持って生きようになる。それゆえ、神様が準備されたことを見るができなくなるがある。少しだけ私の考えの反対側だけ見ても、それが「日常生活」の中で答えに変わる。 □本論 1. イエス様 (梓 X) -イエス様が教えられたことは、完全に梓を破ってしまった反対のことだ。 1) 幸い-今イスラエルが属国になっているのに、ポジションを占めていることが幸いなのか。かえって心の貧しい者、悲しんでいる者が幸いだ。 2) 祈り-神の国 「奥の部屋に入りなさい。あれこれくさいと言わずに、あなたがたはまず神の国とその義とを求めなさい」と言われながら、これが祈りだと言われた。 2. RT 1) ヨセフが奴隷に行ったが、ここで経済を勉強したのだ。これが重要だ。 2) 濡れ衣を着せられて監獄に行ったが、政治を学ぶようになる。本当に道が開かれたのだ。 3) 王-使命 王の前に立つことになったがヨセフは夢の解き明かしはできないと話した。「主が王様の夢を分かるようにされるでしょう」と言った。 4) 総理になったが、このとき、ヨセフは本格的な宣教を始めたのだ。 3. 神様のこと-反対のことを見るようになれば、いよいよ神様のことが見える。 1) 私の考え-神様のことが見えれば私の考え、私の水準が必要ない。このとき、他の人が私たちを見て「何か持っているんだな」と知るようになって、隠されたことを出せば伝道の門が開かれる。 2) 神様のこと (神様の計画) -この答えを味わえば、神様のこと、神様の計画が見える。 3) 三つのことが見える。 (1) なぜ?-コンセプト 今なぜ私がここにいるかが見える。 (2) 何を?コンテンツ 多くのことの中で何をしなければならぬかが見える。 (3) どのように?システム 簡単に正確な方法が出てくる。 △少しだけ祈って反対側を見れば、多くの答えが見える。それゆえ、Nobody 側に行けば競争者がいない。 □結論_絶対計画 反対側を見れば悟るようになって、生かす道が見える。偉大なる神様の絶対計画が見える。	□序論_福音伝道システム点検 1. 私の福音伝道システム点検 (一生、神様の計画に合うように) 1) 別の福音が入ってきたガラテヤ教会に答え 2) 私の福音伝道システム点検 3) 道に迷った信徒 (確信なし) 2. イエスが語られた福音伝道システム 1) マタ 4:19 キリストついて行きなさい。 2) マコ 3:13-15 ともにおられることを話す伝道、悪霊を追い出す権威 3) ヨハ 19:30 完了した 4) マタ 28:18-20 いつもあなたがたとともに 5) 使 1:3-8 神の国、こと。聖霊に満たされれば地の果てまで証人 3. パウロの福音伝道システム 1) ピリ 3:8 自慢したことをすべてちりあきたに 2) ピリ 3:12 キリストの手に捕えられたこと 3) ピリ 3:14 上のことを求めて 4) ピリ 3:20 天国の国籍が私たちのこと 5) ロマ 16:25-27 4. 教会で見つけなければならぬ福音伝道システム 1) マルコの屋上の部屋 2) アンティオキア教会 □本論_福音、伝道システムを見つければ出てくること 1. 天と地 (Heaven) と御座と永遠-神様の絶対計画を握ること (4 節前半) 1) 3 つの呪いから解放 2) 創 3・6・11 章の運命から解放 3) 使 13・16・19 章の梓から解放 4) 未信者状態 6 つの罫から抜き出したこと 2. 御座とヘブン (Heaven) と永遠の神様の絶対準備の中に (4 節後半) 1) 神様が無条件に救い (1) 創 3:15 女の子孫が蛇の頭を打つこと (2) 創 6:14 無条件に箱舟の中に (3) イザ 7:14 インマヌエル祝福 (4) マタ 16:16 キリスト契約 2) カルヴァンが聖書を五つに要約した内容 (1) 神様を離れた人間は絶対に希望 X (2) 救いに条件を付けることはできない。 (3) 人間の問題解決はキリストしかない。 (4) この恵みは誰も止めることができない。 (5) 神の子ども-絶対に滅亡 X 3) イエスの説明-霊的に乞食になって死んでいく者、万民が来て慰められて生かされる教会を作ろう。 (1) 失った一匹の羊を探すとえ (2) なくしたドラクマを探すとえ (3) 帰ってきた放蕩息子のかたとえ 3. Heavenly, Thronely, Eternally 味わう絶対恵み信じること (1 節) □結論 1. 多民族、病気の者、レムナントが来て、力を得ることができる三つの庭を作ろう。 2. プラットフォーム、見張り台、アンテナができるようにレムナントが祈りを分かるようにしなければならない。 3. 残りの人生と学業が Heavenly, Thronely, Eternally の作品になるべきだ。	パウロがガラテヤ教会に向かって浴びせる呪いの内容。「福音のほかには別の福音を伝えればのろわれるべきだ」契約の中にいれば、ものすごい答えが来る。 出 14:19 神様が直接働かれる所に主の使いを前後に送られる。 詩 103:20-22 正確な契約を握って祈るたびにこのことが起こる。 Ⅱ列 6:15 エリシャが祈っている周囲に多くの天の軍勢動員 Ⅱ列 19:35 ヒゼキヤ王が祈るとき、神様が 18 万 5 千の兵士を一挙に ダニ 6:20-22 危機が来たダニエルに主の使いを送って ダニ 10:10-20 ダニエルがひれ伏す瞬間から、御使いの長を送って働き 使 12:1-25 教会に危機のとき、重職者が集まって祈り-ヘロデ王死亡 使 27:24 昨夜、主の使いが 黙 8:3-5 御座に皆さんの祈りがみな入れられる。主の使いが手伝い 「福音ない教会生かすべき」-私たちの教会の特別使命だ。わざわざいなければ伝道運動だ。 三つの庭、237・癒やし・サミットをここに、産業の場に、祈りの中で作るとき、天の軍勢が動員されるのだ。カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋で、すべてを完成された。237 のやぐらを建てなさい。それでこそ、見張り人になることができる。 □序論_金土日時代を開こう。 1. 門を閉ざす教会 2. 福音がない国を生かすべき 3. 伝道を全く知らない 237 指導者 4. 福音を全く聞けなくなっている次世代 5. TCK (第 3 文化圏の子どもたち) 6. 障がい者 7. RT をリーダーとして訓練させて送り出すべき □本論 1. 別の福音の元祖-サタン 1) 創 3・6・11 あなたは神のようになれる。サタンに捕えられてネフィリムになった。バベルの塔運動、神様にずっと挑戦 2) 使 13・16・19 シャーマニズム、占術、偶像 3) 6 つの運命 2. 別の福音の始まり 1) バリサイ教 2) 福音だけ抜いてしまった中世教会 3) 福音をなくしたヨーロッパ教会 4) アメリカ教会 5) 神秘主義に陥った開発途上国を生かすべき △今もサタンは別の福音を入れようとする 3. 別の福音の結果-次世代 1) サタンの奴隷 2) 捕虜 3) 属国 △7 節に他の福音はないが、ただ、ある人々があなたがたをかく乱してキリストの福音を変えようとしている。正しい言葉を与えてかく乱させる □結論 契約を握る瞬間に-契約的、根源的、代表的、記念碑的、不可抗力的 △皆さんが答えを受ければ、他の人が生かされて、次世代が生かされる 1. Trinity 2. 三種類の庭と御座の祝福 3. 237-5000 Ages 3 時代を生かす答え